

神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書（初回）

所属	外国語学部	国際文化交流学科	学科 専攻
派遣先大学 (国)	メキシコ国際大学 (メキシコ)		
所属プログラム・ 学部・研究科	Spanish School Program		
報告書提出日	2019年09月19日		
留学予定期間	2019年08月～2020年06月		

## 1. 渡航について

### 1.1. 出発前の準備

出願料・宿舎デポジット： 3000（メキシコペソ）約2万

航空券代： 29万（円）

ビザ申請関連費： 0（）/合計

その他（ ）： （）/合計

ビザ取得の際に残高証明書は必要でしたか？ はい いいえ

「はい」の場合、いくらの残高証明書を作成しましたか？ 月約6（万）×3ヶ月分

入学許可証が届いたが、航空券を取ろうと思っていた際に、学校開始日が早まるかもしれないという連絡がきた。どうしようと思っているうちに航空券の料金が上がり、結局29万まで上がってしまった。早く買えれば、もっと安く済む。

### 1.2. 渡航について

日本からの直行便があったが、私が航空券を買おうと思った時期には往復で40万まで上がっていた。結局、フランス（パリ）経由の航空券を購入。フランスでの滞在時間合わせて、トータル32時間の長旅だった。海外へは何回か行ったことはあったが、一人で行くのは初めてで、不安な気持ちでいっぱいだった。しかし、トラブルなく無事メキシコへ到着でき安心した。

メキシコに着いたのは17時。税関を通るのに1時間かかり、空港から出たのは18時だった。メキシコでは、20時以降は女の子一人で歩いてはいけないと言われている。空港からは、少し高いが学校の迎えを頼んだ方がよい。

## 2. 到着後の手続きについて

### 2.1. 寮・ホームステイ等への入居手続き

学校から送られたリストの **only woman** の部屋を片っ端から連絡したが、ほとんど連絡が返ってこないか、もう埋まっていた。結局、部屋を見つけたのは出発の一週間前だった。時差が-14時間もあるため、やりとりに時間がかかる。なるべく早く連絡を取ったほうがいい。お金はオーナーによって異なるが、私は日本からの海外送金ではなく、手渡しで渡した。

### 2.2. 滞在許可・外国人登録の手続き

日本での **VISA** の手続きは、1日で終わった。メキシコへ到着後の手続きは留学担当者が一緒にやってくれた。大使館へも一緒に行ってくれたため、スムーズに手続きすることができた。

### 2.3. オリエンテーション・学生登録・プレイスメントテスト等の学内手続き

メキシコに到着して次の日がオリエンテーションだった。メキシコ生活の説明や学校のスケジュールなどが主な内容だった。英語で説明もしてくれていたが、ほとんどスペイン語での説明。メキシコ人はとにかく親切でフレンドリー。場所が分からなかったり、システムがよく分からなかったら誰かに聞けばみんな親切に対応してくれる。

## 3. 目標について

### 3.1. 留学の目的、達成目標

出発前には **B1** を取得していた。最高の目標は **C1** である。最低でも **B2** は取るつもりだ。外国で働くのが夢であるため、留学の目的は、スペイン語力の向上と、自立、そして多文化理解するためである。

### 3.2. これまでの学習・研修目標および達成度について

日本では文法を主に勉強した。リスニングは、音楽や **Netflix** を利用。自分次第ではあるが、メキシコに着いたら話す機会はいくらでもある。インプットが追いついていないため、授業の復習はもちろん、時間が空いたり暇な時間は、語彙を覚えたり、スペイン語の文を読むことを欠かさず今後も続けていきたい。リスニングができてても単語が分からないことが多い。ボキャブラリーを増やす努力をしようと思う。

### 3.3. 今月の学習・研修目標

今月の目標は、基礎をしっかりと固め、それをアウトプットすることである。11月に、**DELE** の試験があるためそれに向けての勉強も毎日コツコツやる。

## 4. 学修について

### 4.1. 授業時間割

現在の学期	Fall 学期
月	8時～14時 スペイン語授業
火	8時～14時 スペイン語授業
水	8時～14時 スペイン語授業
木	8時～14時 スペイン語授業
金	8時～14時 スペイン語授業
土	なし
日	なし

### 4.2. 授業について

私のクラスは、4人の少人数制であった。話す機会も多い。しかし、一緒に学習していた外国人はヨーロッパ人であったため、遠慮していたら遅れてしまう。分からないことは、授業後ではなくその場ですぐに聞く努力をした。8時から11時の授業で休憩が2回あった。文法の授業だったのに、休憩が終わったら、話が盛り上がり次の休憩まで話しばなしだった。たくさん話したかったので私はとっても楽しかった。進行具合は生徒に合わせてくれた。先生も優しく分かり易かったので良かった。

### 4.3. 予習・復習・自習について

クラスのレベルにもよるが、私のクラスは日本でやった基礎的なことが授業内容であったため、授業の予習はしていない。代わりに、ボキャブラリーやリスニング、DELEの資格勉強をしている。毎回宿題が出る。クラスの変更はかなりゆるく、自分で頼めばクラスを変更してくれる。授業は1～5人とかなりの少人数制クラスで、話す機会がたくさんある。先生も陽気で授業もわかりやすく、とても楽しい。

## 5. 生活について

### 5.1. 衣食住について

住居	シェアハウス
----	--------

### 5.2. 課外活動について

留学生のための遠足がたまにある。メキシコを知るととても良い機会である。学校内での様々なクラブ活動があり、私は週3回(火水木)INSANITYというクラブに参加にしている。休日は特にすることもなく、家で勉強するかメキシコ人の家族と話している。土曜日は朝から近所でやっているYOGAへ行っている(学校の活動ではなく、自分で探して参加)。クエルナバカ(メキシコ)は、何も無さ過ぎず、あり過ぎないため、お金をあまり使うことなく楽しむことができている。メキシコは安く他の国へ行け

るため、長期休暇の際に行くことを考えている。

### 5.3. 現在までの感想

メキシコに着いてからカルチャーショック起きまくりの毎日である。悪い意味ではなく、とても良い刺激をもらっている。毎日が楽しく、自分のスペイン語力が上がっているのが分かる。日本にいる時と比べて、メキシコではのんびりとした生活を送っている。夜遅くに出歩くのは危ないので 18 時にはもう家にいる。家の中にいる時間をどのように使うかが重要だと思う。1 年は長いと思っているが、絶対に早く過ぎる。無駄のないようにしたい。この一年の留学が私にとって良い体験になるように、後悔しないよう過ごしていきたい。

以上

## 神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書 (10月)

所属	外国語学部	国際文化交流学科	学科 専攻
派遣先大学 (国)	メキシコ国際大学 (メキシコ)		
所属プログラム・ 学部・研究科	Spanish School Program		
報告書提出日	2019年10月26日		

### 1. 目標について

#### 1.1. 留学の目的、達成目標

初回近況報告書の目的と変わらず、最高の目標は C1 である。最低でも B2 は取るつもりだ。外国で働くのが夢であるため、留学の目的は、スペイン語力の向上と、自立、そして多文化理解するためである。

#### 1.2. 先月の学習・研修目標および達成度について

文法を主に勉強していた。もうリスニングは充分であると感じたが、問題は単語力である。単語が分からなければ、聞き取れても理解できない。また、長文でもこの問題が生じてくる。今月は単語を中心に、DELE の試験のために長文も頑張っていきたい。

#### 1.3. 今月の学習・研修目標

今月の目標も、DELE の試験に向けて勉強していきたい。単語力を上げること。授業でやったこともアウトプットできればなお良し。

### 2. 学修について

#### 2.1. 授業について

文法も会話の授業も毎週先生が変わるシステムで、先生によって授業の進め方は異なるが、その分色々な授業の仕方を受けることができるとも良い。

内容はどちらも、毎日真面目に受けていたら理解できる。日本では、分からないことは授業後や授業前に聞くのが一般的なシステムだが、外国では授業中に聞くのが一般的である。他の留学生に負けじと質問していきたい。

## 2.2. 予習・復習・自習について

文法も会話の授業も予習は基本せず、出された宿題をするくらいである。

私のクラスは授業をしっかり受けていれば分かる内容のため、復習はテストの前日だけで充分である。毎週金曜日にテストがあり、毎回 90 点以上を取っているが、間違えている所もあるため、返却後は間違えたところの見直しを欠かさずしている。

自習はほぼ毎日行なっている。日々の積み重ねが大事なので頑張っけて続けていきたい。

## 2.3. 語学力について

メキシコでの生活が始まってから、少しずつ自分の思っていることが表現できるようになってきていたが、その伸びが止まった感じがする。この停滞期が踏ん張りどころだと思うので、めげずに勉強していくつもりだ。

私の問題点は、単語力の無さである。単語力は日々の積み重ねが大事だと思っているので、サボらず続けていきたい。

毎日テキストやノートを見るのも飽きるし疲れるので、Netflix を活用し、リスニング力と単語力を上げている。メキシコでは、ディズニー映画がみれるよ。

## 3. 生活について

### 3.1. 衣食住について

住居	シェアハウス
オーナーが新しいマットレスをくれた。今日からぐっすり寝られそう。	
最近、放課後にスターバックスへ行き、夜まで勉強する生活を送っている。	
1 ヶ月に 2 回はお腹を壊す。胃痛薬を持ってくればよかった。また、なぜだかメキシコに来てほぼ毎日、原因不明の蕁麻疹が出ていたがやっと原因がわかった気がする。ボディークリーム、柔軟剤、ファブリーズなどが原因だと思った。アレルギーなどなく、日本では蕁麻疹が出たことなかったのが驚いた。ひどくなりすぎたので病院へ行き抑える薬をもらった。再発したらアレルギー専門の病院へ行くように勧められた。外国では予期せぬことが起こるんだなと思った。	

### 3.2. 課外活動について

休日は、DELE が近いので、何も予定入れずほとんどスターバックスで勉強の日々である。だが、今週の休日はメキシコで死者の日が行われるため、メキシコシティへ出かけようと思う。学校内の遠足もたまにあり、今月は TAXCO へいく予定である。他の留学生とも仲良くなり毎日が楽しい。

### 3.3. 現在までの感想

DELE の申し込みを 10 月の中旬にし、試験まで残り 1 ヶ月を切った。受かる自信はないけれど、まずはそれを目標に勉強に励んでいきたい。

クラスメイトの授業態度が毎回不満であったが、先生に相談したところ、協力してくれるようになった。外国では、自分から思っていることを口にしなければ、何も始まらないことを学んだ。日本のよう

に、人が人の気持ちを読むことがあまりないということを改めて感じた。

以上

## 神奈川大学派遣交換留学修了報告書

所 属	外国語学部	学 科	国際文化交流学科	4 年次
派遣先大学 (国)	Universidad Internacional (メキシコ)			
所属プログラム・ 学部・研究科	秋学期 Spanish School Program 春学期	履修言語	スペイン語	
留学期間	2019 年 08 月～2020 年 03 月			
報告書提出日	2020 年 03 月 28 日			

### 1. 学修について

#### 1.1. 学期区分

学期	授業期間	試験期間	履修登録するまでの過程
FALL SEMESTER	08 月 24 日 ～12 月 16 日 (16 週)	毎週金曜日	授業がはじまる少し前にスペイン語のレベルをはかるため、簡単な筆記と会話のテストを受けた。毎週月曜日にテストがあるため、毎週月曜日クラスの振り分けが書かれた紙が指定の場所に置かれる。
SPRING SEMESTER	01 月 27 日 ～03 月 20 日 (8 週)	02 月 24 日 ～02 月 28 日	担当の教員に受けたい授業を伝え、登録してもらおう。授業開始一週間はオリエンテーション期間のため登録解除可能。それも、担当の教員に伝えれば良い

#### 1.2. 履修科目・内容

学期	履修科目名	合計時間 (内訳)	履修内容・授業での取り組み
FALL SEMESTER	SPANISH SCHOOL PROGRAM	510 時間  6(時間/回) × 5(回/週) × 17(週)	1 日 6 時間、毎回 2 時間後に 10 分間の休憩時間がある。少人数制であり、主に文法を中心とした授業であった。毎日プリント 2 枚分ほどの宿題が出され、その日にやった復習が宿題でできた。テストは毎週金曜日にあり、その結果次第で月曜日のクラスが決まるようになっていた。あまりに点数がひどくなければクラスが変わることは、ほぼない。だが、自分に合っていないと感じる場合、自己申告制で柔軟に対応してくれる。



SPRING SEMESTER	SPANISH SCHOOL PROGRAM	240 時間	上記と同じプログラムではあったが、教師の意向により特別クラスで学ぶことができた。作文を中心に、文法や会話を学び、とてもレベルの高い授業であった。スペイン語による文の書き方、語句の使い方など、深いところまで知ることができた。毎週、ワード 2-3 枚分の作文の宿題が出され、提出後に教師が添削することで、自分の間違いを正すことができた。このクラスを受けたことにより自分のスペイン語力がとても上がったと感じる。
		6(時間/回) × 5(回/週) × 08(週)	

### 1.3. 学修する上で心がけていたこと、予習復習の仕方について

私が心掛けていたことは2つある。

一つ目は、分からないことを分からないままにしておかないことである。なぜならば、分からないことを無視し続けていたら、結果何も身につかず終わってしまうと思うからである。分からないことは自分が分かるまで聞くことを心がけて頑張っていた。

二つ目は、恥じないことである。行動することを恥ない。話すことを恥ない。間違えることを恥じない。なぜならば、恥じることは、語学力向上の妨げになると思うからである。恥じてしまうことで、足が止まってしまう。足が止まってしまうことで、正しいことも、間違っていることも気づくことができない。日本と比べ、ひとりひとりが考えを発言する文化をもつメキシコでは、恥じないことがより大切であった。

### 1.4. 語学力について

コロナウイルスという急な出来事が起きてしまったため、目標としていた資格を得ることはできなかったが、スペイン語力はかなり上がった。留学前と比べて、自分の言いたいこと伝えられ、メキシコ生活の後半では、特に苦勞することなくネイティブの方々と会話をすることができた。確かに、完璧というレベルには達していないが、会話の途中で分からない単語が出ればどういう意味か教えてもらい、日々惜しまず勉強していた。あと少しで何かを得そうな時に、帰国しなければならなくなりとても悔しい気持ちではあるが、この留学を通して、語学力はもちろんのこと、異なる文化や考え方、人柄など多くのことを学ぶことができた。本当に良い経験をすることができた。

## 2. 留学の成果を振り返って

### 2.1. 学修の成果

文法：日本で学ぶこととは異なり、初めはスペイン語でスペイン語の文法を学ぶ事にとっても苦勞した。だが、現地でスペイン語を学ぶ事でその日習ったことをその日にアウトプットすることができた。このおかげで中盤はスペイン語力の伸びを自分自身で感じる事ができた。先生方もとても親切に接してくれ、クラス外でお話をする時も文法の指摘や単語の指摘をしてくれた。また、日本とは違い、文法のクラスとはいえ毎回、紙や黒板に向かって勉強するのではなく、文法のクラスであてもその文法を使いながらの会話をする事が多く、より実践的に効率よく学ぶ事ができた。

会話：メキシコでもアメリカのように“How are you?”のように言う習慣がある。この質問でアジア人とヨーロッパ人の違いを感じる事ができた。ほとんどのアジア人が“Im good.”としか答えないのに対しヨーロッパ人は、なぜ“Im good.”なのかその理由と前の日に起きた事その日に起きたことを細かく説明していたのである。私はそれに気づき、次の日から意識して彼らのように会話をする事を心がけた。なぜならば、それにより1日に話す量であったり教師が生徒から感じる学習意欲が大きく変わると思ったからである。このような小さい事を積み重ねていったおかげで留学前とは全く違う自分になれた。留学の後半ではメキシコ人の友達とも良いコミュニケーションととることができた。

文章力：しっかりと文章を書くことを始めたのは **SPRING SEMESTER** からであったため、自分の納得するレベルに達することはできなかった。だが、先生には初めよりも格段によくなっているという言葉がもらえることができた。また、文章を書く上で私に足りないものは、学んだことを自分自身のものにする事だという指摘ももらった。帰国した今できることは復習することだと思う。

### 2.2. 学修面での反省点ならびに留学志望者へ学修面のアドバイス

留学中は、現地にいるためアウトプットする機会が非常にある。そのため、インプットが遅れる可能性がある。私は、復習予習をサボらなければ、少しずつ語学力は上がっていくと信じている。あまり高いレベルの語学力を目標にしないのであれば、ジェスチャーや相づち、表情でなんとかやっているとと思うが、しっかり話したい場合はそれなりの文法力、単語力がなければいけない。そのためにはインプットが重要になってくる。私は現地へ行けばなんとかかなと思っていただけだったため、インプットはメキシコに着いてから始めた。留学前からしっかりやっておけば、スタート地点は変わっていたと思う。

### 2.3. 留学生活で得られたもの

私が留学生活で得たものは、考え方の柔軟性と精神力である。

様々な国籍の人たちと関わり過ぎていくため、常に自分の固定概念にとらわれずに生活をするよう心がけた。それにより、留学の中盤では、いろいろな国籍の人たちと楽しく話すことができた。メキシコの文化のみならず、彼らの文化も知ることができ良い経験になった。

日本とは真逆の文化、国民性をもつメキシコでの生活に初めはとても苦勞した。私たち日本人が考える普通が彼らには普通ではないからだ。メキシコでの生活でとても心が広がったと思う。また、今後何があっても大丈夫と気分を切り替えて頑張れそうな気がする。

メキシコで得た柔軟性と精神力は、今後社会に出た際にも役にたつだろう。

#### 2.4. 留學生活での反省点ならびに留學志望者へ生活面のアドバイス

初めは、一人でたくさんの事を我慢して過ごしていたため、蕁麻疹が出たり、腹痛が続いたり泣いたりしていた。今思うことは、もっといろんな人に相談すればよかったということである。この負の時期がすごくもったいなかった。また、日本語を使いすぎない事を徹底していたため、ストレスがすごかった。スペイン語上手くならなきゃ、資格取らなきゃなどと自分自身にプレッシャーを与えすぎていたと思う。少し完璧主義なところがあるため、そんなに自分自身を縛りすぎずに生活できたらよかったのかなと思う。留學中の日常生活の充実さ楽しさが語学力向上にもつながると思う。

私から、留學志望者の方々へできるアドバイスは、「縛りすぎもよくない」です。